

日本鉱物科学会 平成27年度第3回 定例評議員会議事録

日時：平成28年9月22日（金）18:00-19:30

会場：金沢大学角間キャンパス自然科学本館1階104室

評議員会出席者

会長：小山内康人，副会長：土山 明

評議員：大藤弘明，鍵 裕之，角替敏昭，永瀧真理子，
平島崇男，宮島 宏，森下知晃，阿部なつ江，
井上 徹，黒澤正紀，小暮敏博，下林典正，
高澤栄一，土谷信高，長瀬敏郎，中村美千彦，
安東淳一，池田 剛，大和田正明，河上哲生，
土屋範芳，宮脇律郎，柳澤教雄
委任状：貴治康夫，佐藤 努，濱本拓志，上原誠一郎，
川本竜彦，平賀岳彦，吉朝 朗

報告者出席：

庶務幹事：永井隆哉
会計幹事：中村美千彦
行事幹事：黒澤正紀
和文誌編集幹事：木村 眞
英文誌編集幹事：平島崇男
渉外幹事：井上 徹
Elements 幹事：宇都宮聡
特務幹事(対外雑誌担当)：大谷栄治
特務幹事(法人化対策担当)：大和田正明
会計監査委員：加々島慎一
三鉱連絡委員：永井隆哉，黒澤正紀
選挙管理委員会：栗林貴弘
地惑連合2016年度学会選出プログラム委員：三宅 亮（正）
地惑連合連絡担当：大谷栄治，黒澤正紀，橘吾吾(連合連絡委員)
行事委員会：黒澤正紀委員長
GKK編集委員会：木村 眞委員長
JMPS編集委員会：平島崇男委員長
渉外委員会：井上 徹委員長
Elements委員会：宇都宮聡委員長
将来企画委員会：土山 明委員長
新鉱物・命名・分類委員会：宮脇律郎委員長
博物館委員会：坂野靖行委員長
法人化準備WG委員会：大和田正明委員長
2017年年会運営委員会：入船徹男委員長代理井上委員
研究発表優秀賞選考委員会：横山 正委員長

会議に先立ち永瀧真理子評議員が書記に選出された。

I. 報告事項

1. 会員報告（佐藤会員幹事：代理永井庶務幹事）

平成27年度第2回評議員会以降の会員動静について、永年会員2名のご逝去，シニア会員6名一般正会員8名，学生正会員8名の退会，一般正会員3名，学生正会員21名の入会があったことが報告された。また，平成28年度からの永年会員4名（秋月瑞彦，浦野隼臣，白木敬一，藤澤英幸敬称略）の報告があった。会員数の遷移について報告があり，全体に会員減少が続くが，指導学生に引き続き入会を勧めるよう各評議員に依頼があった。

2. 広報報告（伴広報幹事：代理永井庶務幹事）

1) 学会事務連絡，公募案内，関連学会案内など会員へのML送信を27件実施した（2015年は24件）こと。

2) 連合大会の日本鉱物科学会ブース展示対応を行ったこと。

1. 学会内容紹介のポスター掲示，2. 学会誌GKK，JMPSの紹介と配布，3. 会員執筆書籍の展示紹介，4. 会員に配布されている“Elements”の紹介と配布，5. 「一家に1枚：鉱物-地球と宇宙の宝物」ポスターの紹介と配付，6. JpGU大会スタンプラリー実施に参加，7. YMO 集会パンフレット配布と紹介。

3) ホームページを随時更新し，新しく日本鉱物科学会のtwitter，と facebookのアカウントを開設したこと。

4) 一般社団法人化記念事業，日本の石(国石)の選定パブリックコメント受付，プレスリリース対応を行い，その他，記念事業を検討しその内容を評議員会でメール審議し，意見を参考に修正案を作成した。修正案の審議は持ち越し事項としたことが報告された。

3. 渉外報告（井上渉外幹事）

1) 「本学会会員執筆書籍の展示」は，2016 JpGU及び今回の日本鉱物科学会2016年年会へと引き続き行われており，昨年までに献本された本は29冊であり，その後新たに献本された本は無いこと。

2) 講談社サイエンティフィック「鉱物科学」について状況報告があり，現在，編集委員の第1段階の査読を終え，それを基に著者による修正，章によっては修正版の提出がなされている。修正版（第2版）の未入稿の章に関しては，その入稿に努力していることなど報告された。なお，土山評議員から「鉱物科学辞典」の編集状況も合わせて紹介があった。

4. 和文誌編集報告（木村和文誌幹事）

平成28年9月22日(木)14:30-15:00に開催された2016年岩石鉱物科学編集委員会の内容について報告があった。

1. 編集状況報告：(1) 9月18日現在，平成27年度中に発行された岩石鉱物科学44巻5号(9月号)～45巻4号(7月号)の掲載件数と頁数は次の通り。原著論文3件48p，短報1件6p，総説5件53p，資料・解説(受賞講演含む)9件59p，訂正1件1p，新刊紹介6件3p，ニュース(他学会案内，教員公募等)2p，投稿規定6p，学会記事(評議員会・総会議事録，連合ニュース等)26.5p，2016年年会案内・プログラム29p，追悼文，その他0.5p，総目次3p，広告11件5.5p，白頁5.5p，合計248p。(2) 発行・編集状況：45巻4号(7月号)発行済み，電子ジャーナル8/30公開，冊子8/30発送完了。45巻5号(9月号)掲載予定：受理論文2編。(3) 現在査読中論文：1編。その内受理予定0編。

2. メール審議の確認：(1) 投稿規定変更報告：1) 隕石名の対応，2) 直方晶系への対応，3) 掲載不可論文の対応，4) 投稿手続，(2) 会員の受章紹介記事の件

3. 編集委員長，副編集委員長の交代について：編集委員会では，次期和文誌編集幹事として長瀬敏郎委員（東北大）を次期会長に推薦する。新幹事は和文誌編集委員長となる。また新副委員長とし高澤栄一委員（新潟大）を指名する。

4. 編集委員の交代について次の通り編集委員会で承認された。(1) 定年による委員退任：赤坂正秀委員，大谷栄治委員，中牟田義博委員，前田仁一郎委員 (2) 後任の 新委員（第1回理事会で報告予定）濱田麻希会員（金沢大），久保友明会員（九大），三宅 亮会員（京大），星出隆志会員（秋田大）。

5. 審議事項：(1) 2017年度からの冊子の発行回数に関して6号発行から4号発行に変更する提案が，編集委員会で審議され承認された。但し年間総頁は現状維持とする。(2) 発行数変更による購読会員年間購読費については変更なしとすることが編集委員会で承認された。

5. 英文誌編集報告 (平島英文誌幹事)

平成28年9月22日(金)15:00~16:00に開催された2016年第2回JMPS編集委員会の内容について報告があった。

1. JMPS状況報告：(1) 9月18日現在、平成27年度中に発行されたJMPS 110巻5号(10月号)~111巻4号(8月号)の掲載件数と頁数は6号分で次の通り。Review 1件 3p, Article 28件 386p, Letter 4件23p, Technical 0件0p, Editorial 1p, Errata 1p, 投稿規定4p, Index 4p, Contents 4p, 白頁2p, 合計428頁。(2) 発行状況: 111巻5号(10月号) 原著論文6編(3編早期公開, 3編印刷中), 111巻6号(12月号)原著論文3編印刷中。(3) 編集状況: 2016年9月18日現在: 投稿論文50編, 受理21編, 不受理12編, 査読中8編, 返却中8編, 取り下げ1編。2015年9月19日から2016年9月18日まで(カッコ内数字は昨年, 一昨年の数字): 総投稿数50(68, 50)編, 通常原稿33(56, 34)編, 年会Letter17(12, 16)編 [うち海外投稿数15(34, 14)編]。(4) 2015年JMPSインパクトファクター0.648 (昨年0.742, 一昨年0.656) (5)電子ジャーナルアクセス状況報告。
2. 2016年年会講演を対象にLetter を募集中である(投稿申込締切: 2016年10月11日)。Letter企画の対応再確認があった。原則刷上り4頁以内, 最大6頁以内, 極力WEBサイトへのdepositは避けること。depositが多い場合はOriginal Articleへ変更する場合もある。
3. JMPS学生論文賞選考委員会報告
平成27年度のJMPS学生論文賞の適格論文として添付の2編を推薦することを決定した旨, ご報告申し上げます。評議員会にお諮りいただき, 承認されましたら決定します。決定しましたら総会で賞状を贈呈することになっています。

平成27年度 JMPS学生論文賞受賞論文と受賞者

1) 第1回受賞者 田口 知樹 会員 (名古屋大学)

Taguchi, T. and Enami, M. (2014):

Coexistence of jadeite and quartz in garnet of the Sanbagawa metapelite from the Asemi-gawa region, central Shikoku, Japan. JMPS, 109(4), 169-176.

本論文は、四国三波川変成帯の汗見川流域に産する泥質変成岩のザクロ石中に石英とヒスイ輝石の複合包有物の存在を確認したことから、少なくとも汗見川地域の曹長石-黒雲母帯中の南側では緑簾石-角閃岩相よりも高圧の変成作用を受けたことを示したものである。さらに、ラマン分光分析により、石英が既知のエクロジヤイト相の石英と同程度の残留圧力をもつことを明らかにした。すなわち、エクロジヤイト相変成作用を受けた岩石の分布域が従来考えられていたよりも広がる可能性を示したもので、三波川変成岩類の形成と上昇を議論する上で重要な情報となることが期待できる。以上のことから、本論文はJMPS学生論文賞に相応しいと判断される。

2) 第2回受賞者 東野 文子 会員 (京都大学)

Higashino, F., Kawakami, T., Tsuchiya, N., Satish-Kumar, M., Ishikawa, M., Grantham, G.H., Sakata, S., Hattori, K., and Hirata, T. (2015):

Geochemical behavior of zirconium during Cl-rich fluid or melt infiltration under upper amphibolite facies metamorphism - A case study from Brattnipene, Sør Rondane Mountains, East Antarctica. JMPS, 110(4), 166-178.

本論文は、南極東部セールロンダーネ山地に産する苦鉄質片麻岩中の塩素に富む流体またはメルトに起源するザクロ石-角閃石脈に着目して、脈の形成前後の外部からの元素の添加・溶脱の有無を検討するために必要な不動元素の選定を行った

ものである。特に、塩素に富む流体が関与した場合のZrの挙動に関しての検証を行ない、Zrが高温において塩素に富む流体の流入の影響は受けず不動元素として挙動することを明らかにした。このように、Zrに関する元素挙動という取り扱いが難しい問題に対し、詳細な組織解析に加え、LA-ICP-MSによるジルコンの放射年代やREEデータを用いた丁寧な議論を行っており、JMPS学生論文賞に相応しいと判断される。

4. その他

(1) 受理論文の引用文献チェック利用報告

(2) Editorial Manager投稿システム操作上お願い

5. (1) Editorial Manager投稿システムの査読者自動アンアサイン日数について、30日+14日でアンアサインすることが承認された。

(2) 投稿論文不足の現状とお願い

(3) 次期編集委員会委員の任期を再確認した。

6. 庶務報告 (永井庶務幹事)

(1) JpGUと年会時に開催する幹事会、評議員会の開催日時について講演発表と重ならないように調整した。また、任意団体最後の平成27年度総会についても開催時間、議案などについて関係委員会等と調整した。

(2) 連合への各種対応: 合大会プログラム委員、環境災害対応委員会委員を選出した。

(3) その他団体からの後援、共催、協賛などについて対応した

(4) 法人化に伴う、次期会長、副会長、評議員選挙についての対応を検討して、会員へアナウンスした。

(5) 外部団体からの受賞候補者推薦依頼について、第7回平成28年度日本学術振興会育志賞受賞候補者推薦1名、平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(若手科学者賞)候補者推薦1名を推薦した。上記を含めIMA Awardなど外部からの受賞候補者推薦依頼に対しての本学会推薦方法について、ガイドラインを作成することとして、この件を将来企画委員会に審議依頼することが報告された。

7. 行事報告・年会報告 (黒澤行事幹事)

現在2016年9月23日(金)~26日(日)まで金沢大学角間キャンパスにて日本鉱物科学会2016年年会・総会が開催されていることとシンポジウムの紹介があった。2016年連合大会が:2016年5月22日(日)~5月26日(木)の期間、幕張メッセで開催されたこと、日本鉱物科学会2017年年会・総会が、2017年9月12日(火)~14日(木)に愛媛大学城北キャンパスで開催される予定であり、また2018年は山形大学で開催予定であるとの報告があった。

8. Elements報告(宇都宮Elements幹事)

Elements Society NewsについてNo.4(8月号)からNo.5(10月号)まで編集済みでNo.6(12月号)についても現在編集中等であることと、次年度から委員長、副委員長の交代予定の紹介があった。

9. 選挙結果報告 (栗林選挙管理委員)

平成28年6月30日締切で行われた次期会長、副会長、評議員ならびに新法人の監事に関する選挙結果について以下のような報告があった。

会長(代表理事): 土山 明
副会長(代表理事): 榎並正樹

評議員（理事）：

安東淳一， 大和田正明， 河上哲生， 川本竜彦，
鈴木正哉， 永井隆哉， 伴 雅雄， 三河内岳，
宮脇律郎， 吉朝 朗（以上10名）

次 点：宇都宮聡

監 事（一般社団法人）：小山内康人

総投票数： 222票（WEB投票202， 郵送投票20）

有効投票数：221票（WEB投票202， 郵送投票19），

無効投票数：1票（郵送投票 1）

正会員立会人(2名)：足立達郎会員， 宮本 毅会員

1 0. 将来企画委員会報告（土山委員長）

平成28年9月22日（木）16：00-17：30 に他2委員会と合同で開催された第17回2016年将来企画委員会において議論されたことについて報告があった。

1. 日本の石選定WG委員会報告：日本鉱物科学会の法人化記念事業のひとつとして、日本の石（岩石・鉱物）の選定を行うことが第2回評議員会で承認されたが、これについて、将来企画委員会でさらに慎重に検討審議した結果を、平成28年6月8日に評議員会メール審議を行い承認いただいた。その後、日本の石選定WG委員会を結成して、国石の定義、候補とその理由などについて活発な意見交換、情報収集を行い、11種を第1次候補とした。この結果をWEBサイトに公開し、会員および会員以外からもパブリックコメントを求めた。またプレスリリースも行い、朝日小学新聞に掲載されるなどの反応があった。パブリックコメント締切り後、コメントも参考としてWG委員会で最終選考候補を5件に絞り、総会での投票方法など検討し明後日の総会となる。年会会場では最終候補の標本展示やポスターを掲示して、会員に投票参加を促し、また投票結果については記者会見を開催する予定。
2. IMA分科会への対応について(継続審議)
鉱物科学会として今までのように継続してIMAに参加するような方向で検討することでさらに継続して審議することとなった。
3. 研究発表賞の授賞式の件 これを検討するWGを年内に立ち上げ結論を出したい。
4. WRI (Water -Rock Interaction) 2019年国際会議について鉱物科学会を中心に日本で開催したいので招致活動を承認した。
5. 年会講演要旨集をWEB化したいので見積を取ることが承認された。

1 1. 特務幹事(法人化対策担当)報告(大和田特務幹事)

1. 一般社団法人日本鉱物科学会設立報告

平成28年8月中旬に設立社員2名，設立理事32名（今回の選挙当選者12名と継続20人で，設立代表理事2名，設立平理事30名）と監事1名からの就任承諾書提出，8月26日に公証人による定款の認証後，平成28年9月1日にすべての書類が代理人の司法書士により東京法務局（仙台法務局管轄）に提出され登記が完了し，一般社団法人日本鉱物科学会が設立されたことが報告された。

2. 一般社団法人定款，新役員紹介

定款は172頁に記載しています。新役員は以下の通りです。

理事会（32名）

代表理事：会長：土山 明，代表理事：副会長：榎並正樹

理事：

大藤弘明， 鍵 裕之， 貴治康夫， 佐藤 努， 角替敏昭，
永嶋真理子， 濱本拓志， 平島崇男， 宮島 宏， 森下知晃，
阿部なつ江， 井上 徹， 上原誠一郎， 黒澤正紀， 小暮敏博，
下林典正， 高澤栄一， 土谷信高， 長瀬敏郎， 中村美千彦，
安東淳一， 大和田正明， 河上哲生， 川本竜彦， 鈴木正哉，
永井隆哉， 伴 雅雄， 三河内岳， 宮脇律郎， 吉朝 朗
監事：小山内康人

3. 一般社団法人事業計画案，収支予算案の紹介(中村会計幹事)

- (1) 事業計画案： 1) 編集事業：石鉱物科学の発行， Journal of Mineralogical and Petrological Sciencesの発行。2) 行事事業：2017年年会（愛媛大学）の開催，平成28年度第1回社員総会の開催。3) 各賞の表彰事業。4) その他 の紹介があった。
- (2) 平成28年度一般社団法人日本鉱物科学会収支予算案(平成28年9月1日～平成29年7月31日) が紹介されたが，予算案は第 1回理事会に諮られることになること，一般会計と特別会計は合算されること，社員総会開催を9月中にしか開催できないことから社員総会開催までの諸手続き上7月決算に変更したこと，初年度だけ11か月で運営することとなり7月末年度運営終了，決算となることについて説明があった。

1 2. 地惑連合報告（大谷代議員連絡担当）

地惑連合の動きについて以下のような報告があった。

- (1) JPGUのMission Statementの改訂作業を始めている。
- (2) 2016年はAGUとのジョイントセッション（60セッション），2017年はAGUとのジョイント大会となる。AGUとのジョイントの機会に連合大会の英語化を推進したい。
- (3) Joint大会のスケジュール：2017/05/20-25幕張，セッション募集中（9/1～10/13）プログラム委員長Huixin LIU(JPGU九州大地球電磁気)：入船徹男（AGU，GRC鉱物）。(4) AGU Awardsの日本人の受賞が少ないので積極的に推薦をAGUから求められている。2016年は日本人2名（フェロー，メダル）が受賞。

1 3. 特務幹事（対外雑誌PEPS担当）(大谷特務幹事)

JpGUの雑誌Progress in Earth and Planetary Science (PEPS)についての現状報告があった。PEPSの出版論文31編のIFは推定値3.2～3.5であった。Most Accessed Paper Awardsを創設。Most Cited賞を創設。ISIに申請予定。JpGU-AGU Joint Meeting 2017 PEPS特別セッション提案受付中（論文執筆を条件に，1セッション1～2名の旅費を支援。）

1 4. 学術会議報告（大谷学術会議連携会員）

- (1) 大型研究の審査についてと，連合大会のユニオンセッションで大型研究の発表が行われること
- (2) 地球惑星科学委員会総会にて原発事故でのSPEEDIの使用の有無についてシンポジウムを予定し規制委員会に申し入れること
- (3) 防衛省からの研究課題募集について
- (4) IMA分科会の自己点検が行われ， IMA分科会の学術会議および国民へのメリットを求められ， IMA分科会とIMA国内委員会の活性化の方策を検討中。本会での将来企画委員会で「継続審議することが報告された。

15. 博物館委員会報告(坂野委員長)

北川隆司鉱物コレクション巡回展は、石川県立自然史資料館にてJAMS共催で公開中(H29年1月8日まで)。さらに和歌山県立自然博物館(H29年1月14日(土)から2月28日(火)まで)にて継続が予定されている。また、その後に産業総合技術研究所地質標本館での公開も検討中であることが報告された。

16. その他

1) 2017年年会(愛媛大学)準備状況報告

(入船 LOC委員長代理:井上委員)

日時:2017年9月12日(火)~14日(木)

場所:愛媛大学理学部講義棟・数学棟(一般講演・ポスター)
愛媛大学南加記念ホール

(総会・受賞記念講演会:9/12(火)午前のみ)

2017年年会運営委員会(LOC):

入船徹男(委員長),井上 徹,土屋卓久,大藤弘明,西原 遊,
土屋 旬,境 毅,大内智博,西 真之,
新名 亨,森 寛志,齊藤 哲,榎原正幸,
佐野 栄(以上予定)

日程:9月12日(火)午前 総会・受賞記念講演会

(愛媛大学南加記念ホール)

9月12日(火)午後から一般講演(愛媛大学理学部講義棟)

懇親会は1日目の夕方,愛媛大学生協にて。

巡検:行わない。

シンポジウム:「地球深部関係」のシンポジウムを行いたい。

2) 研究発表優秀賞受賞者と渡航支援制度状況報告(横山委員長)

日本鉱物科学会2015年年会研究発表優秀賞受賞者

第34回受賞者:中村佳博(新潟大・院自然)

R2-02:実験に基づいた炭質物の結晶構造進化の

カイネティックモデル

1. 支援内容:AGU fall meeting 2015 学会発表 旅費

2. 場所:サンフランシスコ

3. 日程:2015年12月14日~18日

第35回受賞者:伊神洋平(京大・院理)

R2-P13:高温における珪線石のAl/Si無秩序化と形成組織

1. 支援内容:ゴールドシュミット会議2016 学会発表 参加費

2. 場所:パシフィコ横浜

3. 日程:2016年6月27日

第36回受賞者:浅野奈津子(愛媛大・院理)

R2-P16:天然多結晶ダイヤモンド,カーボナードの鉱物結晶

学的記載と成因の考察

申請なし

第37回受賞者:田口知樹(名古屋大・院環境)

R8-02:ザクロ石中に包有されるSiO₂相などの鉱物共生から見た

蘇魯帯楊庄地域の超高压エクロジャイトの

累進変成履歴

学振特別研究員のため辞退

3) その他

(1)ゴールドシュミット報告が鍵評議員からなされた。

(2)日本の石投票の立会人依頼が土山WG委員長からあった。

II. 承認事項

1. 会員の承認(佐藤会員幹事代理永井庶務幹事)

(1)以下の正会員3名,学生正会員21名の入会申込書が回覧され,入会が承認された。転居先不明者2名,3年間会費未納の一般正会員10名が除名され,これらの会員12名について新法人に移行しないことが承認された。

入会承認(合計24名)(入会申込書別添え)

一般正会員 3名

氏名	勤務先	紹介者
村上裕見	日本原子力研究開発機構	湯口貴史
末岡裕理	愛媛大学大学院理工学研究科数	榎原正幸
武田英雄	石川県能登町役場	森下知晃

学生正会員 21名

氏名	在学先名	学年(申込時)	指導教員
吉田 侑起	金沢大学大学院自然科学研究科修2		奥野正幸
飯田 健介	広島大学大学院理学研究科修1		安東淳一
吉田 哲平	山形大学大学院理工学研究科修1		加々島慎一
落合朝須美	九州大学大学院理学府化学専攻修1		宇都宮聡
由井 嵐士	静岡大学大学院総合科学技術研究科修2		二又裕之(非)
大柳 良助	東北大学大学院環境科学研究科博2		土屋範芳
眞鍋 達郎	新潟大学大学院自然科学研究科修2		小西博巳
金井千鶴子	北海道大学大学院理学院自然史専攻修1		栗谷 豪
石井 優佑	東京大学大学院理学系研究科修2		鍵 裕之
杉本美弥菜	京都大学大学院理学研究科修1		土山 明
加藤 亮吏	京都大学大学院理学研究科修2		平島崇男
日下 葵	北海道大学大学院理学院修1		亀田 純
門田 康弘	京都大学大学院理学研究科修2		平島崇男
山根 峻	東京大学大学院理学系研究科修2		鍵 裕之
庄田 直起	神戸大学大学院理学研究科修2		瀬戸雄介
鈴木 康太	神戸大学大学院理学研究科修2		瀬戸雄介
金丸 礼	総合研究大学院大学複合科学研博1		山口 亮
高橋 一輝	茨城大学生命環境学群地球学類B4		角替敏昭
木田 祐輔	東北大学大学院工学研究科修2		杉山和正
磯部 佑太	東北大学大学院工学研究科修2		杉山和正
東 浩太郎	東京大学大学院理学系研究科修1		三河内岳

(2)上記承認後の平成28年9月24日現在での会員数は929名(一般正会員628名,シニア会員171名,学生正会員83名,永年会員34名,名誉会員13名)となり,賛助会員,購読会員を含む団体登録は163件,総数1,092件である。以上から,平成27年度中増数内容は,入会一般9名+入会学生26名となり会員増合計35名。一方,平成27年度中減数内容は,物故5名+退会32名+不明2名+除名10名となり会員減合計49名。以上から,平成27年度会員は昨年度総会終了後943名より14名減少した。

2. 平成27年度会計決算報告(中村会計幹事)

別表の通り平成27会計決算と特別会計決算の報告が中村会計幹事よりあった。

(1)日本鉱物科学会平成27年度会計決算報告 (162頁表1)

(2)日本鉱物科学会平成27年度特別会計決算報告 (163頁表2)

3. 会計監査報告と承認（加々島会計監査委員）

平成28年9月8日に加々島・後藤両会計監査委員による平成27年度一般会計と特別会計の会計監査が行われ、帳簿類、会計内容とも健全に処理されていると加々島会計監査委員より報告された。これを受けて平成27年度一般会計と特別会計決算報告は承認された。

4. JMPS学生論文賞授賞対象論文の承認（平島JMPS委員長）

以下の2編について審議され、JMPS学生論文賞として承認された。

平成27年度 JMPS学生論文賞受賞論文と受賞者

第1回受賞者 田口 知樹 会員（名古屋大学）

Taguchi, T. and Enami, M. (2014): Coexistence of jadeite and quartz in garnet of the Sanbagawa metapelite from the Asemi-gawa region, central Shikoku, Japan. JMPS, 109(4), 169-176.

第2回受賞者 東野 文子 会員（京都大学）

Higashino, F., Kawakami, T., Tsuchiya, N., Satish-Kumar, M., Ishikawa, M., Grantham, G.H., Sakata, S., Hattori, K., and Hirata, T. (2015): Geochemical behavior of zirconium during Cl-rich fluid or melt infiltration under upper amphibolite facies metamorphism - A case study from Brattnipene, Sør Rondane Mountains, East Antarctica. JMPS, 110(4), 166-178.

5. 任意団体日本鉱物科学会平成27年度総会 次第案 （永井庶務幹事）

平成27年度総会次第案が提示され、質疑の後、承認された。

8:30-10:40

一、開会

一、会長挨拶

一、議長選出

一、物故会員への黙祷

一、平成27年度報告及び承認事項

1. 平成27年度事業報告

（会員、広報、渉外、編集、行事、庶務、選挙結果、法人化）

2. 平成27年度会計決算報告(中村会計幹事)

3. 会計監査報告と承認（加々島会計監査委員）

4. 一般社団法人日本鉱物科学会設立報告

（土山 明一般社団法人日本鉱物科学会会長）

1) 定款、法人役員紹介

2) 平成28年度事業計画案 紹介

3) 平成28年度収支予算案 紹介

5. その他

一、審議事項

1. 任意団体日本鉱物科学会解散の件（小山内会長）

2. 日本鉱物科学会の残余財産及び会員の一般社団法人日本鉱物科学会への移転の件（小山内会長）

3. その他

一、日本鉱物科学会賞授与

一、渡邊萬次郎賞授与

一、日本鉱物科学会論文賞授与

一、日本鉱物科学会研究奨励賞授与

一、日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与

一、櫻井賞授与

一、JMPS学生論文賞表彰授与

一、「日本の石」選定（10:00-10:40）

III. 審議事項

1. 任意団体日本鉱物科学会解散の件（小山内会長）

上記審議事項について小山内会長より説明があり、審議の後、平成28年9月30日をもって任意団体日本鉱物科学会を解散することが承認された。

2. 任意団体日本鉱物科学会の残余財産及び会員の一般社団法人日本鉱物科学会への移転の件（小山内会長）

上記審議事項について小山内会長より説明があり、審議の後、平成28年10月1日をもって任意団体日本鉱物科学会の残余財産及び会員を一般社団法人日本鉱物科学会に移転することが承認された。

3. 将来企画委員会から継続審議の件（土山委員長）

(1) 研究発表優秀表彰式の件

上記審議事項について、引き続き関係委員会とともに検討することが承認された。

(2) IMAの国内委員会活動の件

上記審議事項について、引き続き継続審議することが承認された。

以上で任意団体として最後の日本鉱物科学会平成27年度第3回評議員会が終了した。